月中に於る

新京金融經濟狀况

一也米、台月に比り場は減 をせる。首年同月に比す は相當場所にも は相當場所に

蘇子及小麻子

110番手 1100後

1三天5 〇七四周〇九日

安北省の土田経順は移文、吉 開拓親政版庁な開けてるた本 左の如く結る 二十九日新磯州に開替したが 「安見配譜」 去6十日より」、 林、新京、大連其他を組つて

朝鮮銀行新京支店

来高川〇四中(川川八、七四三順也

1、材木線におりる取扱を 管をなさないため材木線印 管をなさないため材木線印 のもので保管を必要さする

こぶる有望

繭視察を終へた平安北道の

理かに引取ること。その他 建かに引取ること。その他 を恐れがあるかも引取人は を恐れがあるかも引取人は

説割れの質情

萬車に及ぶ見込

驛の積卸し方協議

即材本の荷捌きは目下

果北浦に於ける一陌るり收農家の生計調食中の所その

ー七年來の大暴兹

域北頭作物平均作柄九〇、四 か本日その結果を大豆一制二 が本日その結果を大豆一制二 州國滿蠟共同調查報告

即ちた我のか 排のもののみを個人したが留置料をごる 日一キャにつき十銭の割で限用を撤出しない場合は一 から管排のものも

(奉天徳師) B講貿易館主催 の整字見本市は近日間の使別

成積を收め 豫思外の好

物は速に搬出すること なで協議した。かや田骨木 なで協議係者は積卸につき

我の総統関連にでしぶつかったを明めては――」といふ即の

をして他一は、機能を贈る上に

既に呼ばれた気傷は、

理論の建筑

我情の明るさが、あたりに確かて

(荒川芳三郎書)

友

を行

のやうに、既はず難をはづま

それは、父と子とたった二人を

帝國會 協會有功數學個

牧駅内一覧といか

を刺すやうに、久頭には感じられ

112

「大連翻通」現在大便和 の上程模積は本型で既に腐 の上程模積は本型で既に腐 の上程模積は本型で既に腐 の上程模積は本型で既に腐 の上程模積は本型で既に腐 の上ではこれが改築工程三十萬 の上ではこれが改築工程三十萬 の上ではこれが改築工程三十萬 の上ではこれが改築工程三十萬 の上ではこれが改築工程三十百 の上では、 の

を探つてゐるととは、すとし そして彼は、母の話を聞いてる 問題の要面に潜んでみて

陳珊葉館として、珊館の院が、まとと 灰た。 母が、 いつものばらし エンと倣つて、どう 見痛も、糖しなうに、その相手 頭を目がけて、郷しさうにか犬の たちまち、父の殿を指摘いて、人 久職の変が現はれると、茂森は

類を燃料

北浦農民の窮情調査

たなってるたが、不過気がつくと 沈殿の壁もとに、彼の手からすべ 落ちた一代の写真があった。

「ちょっと、ワナヤンにお見せ」

德南街

一部田の女王、栗島彦子 大日方傳 田田の女王、栗島彦子 大田方傳

主演

にけで見るべき傾値は充分で により、この映像では、果島澄子の頭 この映像では、果島澄子の頭 によりでは、果島澄子の頭 では、果島澄子の頭 では、果島澄子の頭 では、果島澄子の頭 では、果島澄子の頭



の意見に、すつかり共鳴せずに に破した。 では、そのないと治って人間 リーで撮影した窓覧であつた。電話

じおへであった。正配以来、 とものと思ふ版に於ても、 間と 田の想ひ出に始ってるたのだ」と、 がは、 さら思った。 がなが、 それがために気は、 き 見といもに、レンズに敬まつた情 れたのである。 で、この意識を見ながら、在りし 父輩は既はず、ハフト脚を打た

のことが、心に作んだすうな動を のことが、心に作んだすうな動を を、切り出さなければならなかつ 「蛇さんは、製して色をてゐるで けれど似は、野気を出して、既

和事務用品 無話

視野酒店新京支店

信言確實

一、綿絲布市况

と、 事業が限ってくれたのであっ



洋帳簿 各種與本專門 青山鄉流 村岡翠壽園 吉舞町一ノ七

金華堂へ 11省堂製本所

高價買入金銀貨金

新門國家事產權 「新聞」 「新聞」

各種ベニヤ板製造販賣 ニヤ板専門 林斌 平和洋行 聊支店 朝日通八一朝日ピル角 店

44



貴宜となる 金川ズヤ 千种 珍らしい ▲多少に拘らず な 御用命を!!

> 淺太郎赤城。唄 又-又|松朴・トキー 神護の凱歌巻を堅す 神経が・トキー 高田浩喜老旗 尾上栗五郎 本養婦都 中井 哲 本養婦都 中井 哲 助 演

设备空

資家の御紹介 資室の単話買賣 新京土地建物會計 新京土地建物會計 計京土地建物會計 が京老松町三町一三町田県 新京老松町三町一三町田県 新京老松町三町一三五四番 株式會社中藤町本人条委 親切な薬量は中央薬店 やけらいの秘樂得来診 は適日前で、電話三人の二番が収上」、現在温楽中の下旬 榮 支本店店 滿洲總支配店 蒙各界御指定御採用 出張所 羅南 店 朝鮮京城 錦 鄭 公 家 主 樹 本溪湖 橋 會寧

工人 龍山 ハチ安奉 ルト ピハ ンル東天 店支京新組崎宮 时工 可能系統 四日間(毎日晝夜) 强力番組週間 (毎日晝夜) 電力番組週間 軟樂の ひよらり草珠調 夜は更けて 美人簿書の純情物語 オーススターカスト

日滿民刑事訴訟、顧問及繼定、資家貨地管理並睹 曹類作成、日滿鮮涌澤及勋門滿洲國唐標登錄 曹類作成、日滿鮮涌澤及勋門滿洲國唐標登錄 は四本化 清洁實所

から脱脚し調整機体の一員 に近来の腰事である、留來 に近来の腰事である、留來

「東京國通」二十日のペルリ

無事使命を果した

修聘特使一行

黒田式都官さ共に臨席した郷を企業都長、服都字之吉博士、大養館の格氏等列階して士、大養館の格氏等列階して

傷めて

國賓待遇の最後の日

米交驩放送

での基礎が愈よな固に赴 無き友誼が維持され所聞

一個通り 関東待遇さしての日、満洲事勢以来被地に 特工を務めに以ぎらひまだに納を施しつてあまだに納を施しつてあまたに納を施しつてあまた。 要士を務めに以ぎらひまたの解治か

一公使主催

きしての使命を無事終了した も大角器相主催の官邸の晩餐

電報料金の値下

げ評

ではな

いか

に売し廣田外相は左の如く語

せんこさを希望するものでの中間を新にし、此の先輝の中間を新にし、此の先輝の中間を新にし、此の先輝

プーに際し東京中央放送島で の局での間に を回顧する

拓相滿洲將來

經濟建設方針提唱

三十日の閣議席上で

相談話發表

一、同合調に参加すべき各國

なるペルリデーの祝智會の ・ ではいる日にあるが、其の はいる日にあるが、其の はいる日にあるが、其の はいる日にあるが、其の なるペルリデーの祝智會の なるペルリデーの祝智會の なるペルリデーの祝智會の

往年を回顧さす

の九ヶ切條約に反するもの度を第一次指府會額で額印

建設方針に就て左の如く提唱の開請に終て顕洲跡来の経濟

意義深い日

(=)

受したのに一段にして別図を に聞えました、八十年の音ペ に聞えました、八十年の音ペ ます。只今の石井子留さがかり原職駐米大使の挨拶「私は

れてゐる の鈴木橋裁訪問は頗る注目さ

問題が起つてゐる際、その第 にして辭去したが文相の後任 にして辭去したが文相の後任

トラス氏が挨拶 日米修交條約の劈頭にある 日米修交條約の劈頭にある 中年間期間を結びつけて來 たが、今後も提現協員、幹 さ述べ、員九時十五分交職政 ければならね

一次で一

元駐日大使

古

い歴史の

鈴木總裁を訪問

良好であつた 良好であつた 現の大全領中権

を見せるに至ったが之き併行して東洋の先電阀「サクラ」 ニッポッ」の傾情、女化等の 研究熱が旺んさなり今致北支 に於ける排目の巣窟さ迄謂は れだ清華大學生の如きも既報 の如く近々櫻の日本訪問をな す有様で一方南京よりの楽職

し、大なり小なり親日的観とかの感じを一 行度要

一歴史一看板をか

日」「打倒帝國主義」の看板を日」「打倒帝國主義」の看板を発売の事を始め南京、上師方形を始め南京、上師方形を対して、東たの事を悟りに

風元を以て大忠若。大崗康里文化を研究すべく日下は算六 帯細 単層合では四月一日より 名を以て俱樂郡を組織し日本日本の大學出身看其他約三百 に俱樂部を研説中であり、新

> 雷さ認めその方針の下に目 下種々参究中である

商議戦附屬地行政権に就

るるやうであるから要す

大阪期米 大阪期米

住日を惹いてゐる

日米和親條約 三月卅一日を

米國府業會種所より一九三四米國府業會種所より一九三四日 記念日で决定

じ料金に引っけをされたい いなよくなつた次第で會議

▲大島大佐(参謀本部)二十 日午後七時卅分者華天から 本簿偉氏(恭親王)向上 本簿孝道氏(恭親王秘香長)

神戸豆粕

五年のつつ

新京市况

大五四三現 月月月月 限限限限物

きか中以上の商工

あるから長文を扱ふ緒官題

電信には別に原典はない

のたぎ力三白れに上つて o る

仁川期米

克克

然し累進的には

もしこれが不可能なれば

一日午前八4三十分餐哈

六五四三 月月月月 限限限

프로 <u>등</u>

豆製豆産 現りまた。 かった公会の出来

」き要望してゐたので

現 物

芝盛

▲大連特產

理大洋對於票 對大洋對金票 對大洋對金票 發票 對金票

践さありしは名宛二語を 前昨和本文二十五字まで四十

十一日午前九時發大きへ

讓

附大島大佐

满洲國視察 赴任を前に

新任ギイッ大使館附武官大島

大連金砂県 1(4)0 1(4)0

番提出期日 金

右無効ニ有之此段廣告候也排渡場所 正隆銀行新京支 · 期日 昭和九年三月三十一日 高 壹百圓也 正隆銀行新京支店 二六二八〇 新京日日

女事務員募集

右票指す 根京富士町 板京富士町五丁目六香地

2000年200万以本記へ本談の市は大記へ本談の市は大記へ本談の市は大記へ本談の市は大記へ本談の市 東西にあれるカビでしょ

東店のこと 東京の上正午より午後一時迄の問題歴書携帯の上正午より午後一時迄の問題を書携帯の上正午より午後一時迄の問題を書 募

せんさする傾向にあるが、 な受けぬ気の機があれば逃亡 を受けぬ気の機があれば逃亡 を受けぬ気の機があれば逃亡 を受けぬ気の機があれば逃亡 その強か金々極東に兵力を輪を行ふさきはれてでるが、 月新兵を徴集してゐらが、本一衛突 とこが度々 食により幹部の指導力針、 に、即らアムール沿岸に亘つ 代の生活狀況等が明瞭さな 西で言はれて るるが、彼 日米修交八十年に **薫員兵と黨外兵に區分され** を、因に赤軍の月俸后の如し 一般異卒には十一ルーブル、小峰 既長百七十ルーブル、小峰 歩兵一個中隊に砲兵一個明除 の教育法は射撃を最も重要視 の教育法は射撃を最も重要視 ・此 育を行つてるるもの、如く常なで使用する砲弾五十四登さいはれて、双六ケ月の教育に對しては人兵直後第一次科學教 た場合には必ず介抱すること報酬の誠を整し戦友の負傷し にも飛込み以て組図のために収明開始の際は命令一下火中 火の出る様な訓練 在齊畑〇呱麾下宍戸騎兵〇降 を巡視、十時四十五分役山歩 を巡視、十時四十五分役山歩 を巡視、十時四十五分役山歩 四十分高低を従へ宿舎を載して飯店に結び三十日午前九時工飯店に結び三十日午前九時での夢を組 会三百ループルにして民卒 の一日の食粮はパン八百グ の一日の食粮はパン八百グ の一日の食粮はパン八百グ **向午後大時より在齊日頭官民中後一時間不飯店に同來した** チ、 ものは日本の龍歩登選であり

(東京國通) 陸軍では現年の 北る可能性ある點に就き非常 れる可能性ある點に就き非常 問題を議題 とせば 我國は招請に應ざ 第二次華府會議と我國の意向 協議會に正式に連翻して強硬 の本場前の決定的意見は左の 如くである 如何なる美齢競句を以て領 が、主

でも支那の場所を担否する ・ は出される可能性の主なる ・ は出される可能性の主なる 投詞策が那邊に在るべきか

国保者の第二次華府會議督策 というりでのは、海軍、陸軍其他各 をはまりでのは、海軍、陸軍其他各

別すものであるさして断然 るは直接的に領別國の養達 を阻断し原序永遠の平和を

も骨質に参加した優突が勝 職題さするか如何が事前に 観題させつさ に瞭ぜざる事、之が協には

治大佐は赴任に先立ち満洲國の現狀段聚のため三十日午後 七年三十分來京したが驛頭で イツニ・行く前に筋臭精的

○ 向間大佐は釈京に二泊の上の ・ビンを観察。一先づ東京に に就く答である 大臣稲佐の見地より現行現在さいへきも政務を爆 法制局を官は軍に法制

し午後二時年質問を終 第1回 ▲阪神日米賞替 ▲大連煙台向

各地市場

新 本新的 新 本 大阪 株 大阪 株 式

苦力の 弱馬出線を禁止 會が命令 北平委員

要望の効果はあった 所で以下側化等外前、単数前 例、軍事研委員會は三月二日 日本

同

1

大垣新京商議理事語る これが改正の内部に関し大垣

一實施一 まれること

料金の値下がせいよく四 一個人的 は研究から世盛してるたち 月一日から

だ。非僧者関係長兼氏の外床 結私場に終げる朝経質に随ん。 無京國通〕郷總額は三十日

會に招かる

排日を捨て 東洋の先進國日本文化を研究 全支に對日轉向時代

新任獨逸大使館

でである故誤解なるやうに

計算一以九五字書

▲京都府賢科大學生十八名三十一日午館十一時三十分種

警保局長の 警視總監

7種順子 二十一名一品収略範単生 二十一名一

希望者は午前中來談ありたし

競京聯生四二丁目一番地

新京 出 張 所

女子事務員募集

多投宿三日午前十一時 使一時五十五分來京旭 耶範鄉生二十四名 二

帯職委員會を閉き驚職首相よ 局具資格任用の件は機能院で、登保(東京調通)警襲機能、登保 資格任用件案

海外經濟 (銀塊及為替 新三仙子) (銀塊及為替 新三仙子)

靳 睭

社

賽馬會事務員《女子用給國際」回二十個》 の但し些会自辨さすの

^熱新京賽馬俱樂部

指紋法を立案

何によつては早速永穏的に権なほ試験がに試みて結果の如

嘘つきデー

師講演會

大正寺にて

一主の復活し

吉川一個氏

▲日本橋、十九番地大顔米松 氏は三十日午後二時四十分

0

米本孝嚴

「主け陸へり拾へり

衣笠賢次氏

を開催振りて参加されたし 杜境内で國恩挙謝顕族掲載式

(日曜學校大人請拜)

何では崩壊取骸人をひめ指定 **収容して常配取扱際に交称し**

2

52

教會集會都原日本基督

日出時順五時二十二分市民早 担 w は五号中

國旗揭揚式

建軍用建

二十続を落した

個十四の監督一枚担金二四人総貨物前で無皮川寨コー

▲入船町二丁目二十二一番地ノ

京者で犯人捜査中である

してみるさ火器はなく

明した目下新

中等理版大會

第二日成績

に収益を切つた

學校で映画会とこく

ものを行ひ午後は西炭橋の

午個八時年の社に

付腕時計一個十型時價十圓 人不在中間者が侵へし黒皮人不在中間者が侵へし黒皮

戸籍法國籍法制定の根據

目下中央に禀請中

職は本日管原行脚の個を市内 の帝國計會軟化團長米本孝厳 の帝國計會軟化團長米本孝厳 明本日管原行脚の個を市内 明本日管原行脚の個を市内 明本日で正位の機関の個を市内 中で正位の一日は一般の質め同 中で正位の一日は一般の質め同 中で一般の質の同

0四条劇誠忠碑前にて、新京

和雄氏方増山八太郎氏は卅

●成は三十日午後七時五十

現大作動的景 金票

集ひ

日の出を拜する

「外後の生命」 「外後の生命」 ・曹川二郎氏 きなたにても御出席を歓迎致

教育を守計一個名皮製パンとの演形量放復三笠可勝手

三時二十分ごろ自宅から間

現大律對金票

二人學院 1111100

念日さされて最初の心念日に助料四月一日は前壁計員會記

ルファー對○○享氧商業務

器を重要するの料

康徳元年に生れた

肥後屋

念日

滿鐵社員會到

けふの銀相場

を窃取され

もので大いに刮目されてるた関係後で案に拍車をかけ 立案

一、官吏及一段人民の不法行

不正行爲者の官会更採用

さなつてるるので民政部では千名を増加して一萬五千餘名 展は目覚しいものき迷想され

主要列車に備付

靖國神社臨時大祭擧げるる

壁明通り顔る頑迷強硬なる 郷側の態度は中國体育協會 総東大會参加問題に對する。

によつて目的賞徹を引すべく体育は會具他開係方面で密接を計り続倒みる運動度に鑑み總領事館常局、上海

九號馬歳館に投宿してゐる一日は共同租界西華通路一一

運動を開始した

をの連合、満洲図の多加岡 北島協會に對して該令顧開 比島協會に對して該令顧開

関を提出し得ざる旨を特に

る意思なし、上海に開催さ

新京《道事務所では従来旅客 野構門協納上なごに捨ておき 群常に不潔なばかりでなくほ 保護馬從事員の作業にも支障 を楽してるたのに鑑みて四月 一日から試験的に主要旅客列 車内に数個の原埃箱を選出し で来してるために鑑みて四月 で楽してるために鑑みて四月 で楽してるために鑑みて四月 で楽してるために鑑みて四月 で楽してるために鑑みて四月 で楽してるために鑑みて四月 で楽してるために鑑みて四月 で楽してるために鑑みて四月

柱、拓務省關係大柱。外務省開係五柱、拓務省關係大柱。外務省開係五柱、物計一千六百六十八柱でこの中には武藤信義元時があり昨年四月の合配名一千七百十一名に比し四十三名。 安本いが満洲に於けるない機関配名 大きいかを如果に長如何に食き酸性が排ばれてあるかと判る

三國圓卓會議を前に

遊覽自動車

近く運轉が

中華休

件協の聲明

B)

F

五常を

天下公認のナンセンスデー

四月馬鹿の話

恨これ久しっしたこ云小 ii 『タハフ、やられたア』 i 慣 『タハフ、やられたア』 i 慣

人もありました、また別の数千た人がニューヨータ中で数千

れ入りますがフイツを工夫人 様へお取次額ひます」でかい よ電話がかもり通しで、保員 に散々な目に遺伝されたご云

部側の直接電影者たる中華全 権東大會参加問題につき討翻 に上海州日發國通」 備州國の

最近各新開は調洲副儒東大
たの如き駆明書を観光した

関にパス型游覧自動車二合を 行者の便利を闘るため新京闘 新京タクシーでは春の旅行シ

日本網の復動に過ぎや、全論を掲げてゐるが之時凡て論を掲げてゐるが之時凡て

金、游霓編路はちかく決定する。紫に許可顧を提出した、料京署に許可顧を提出した、料紙の外に設定した。

体育協会は既に早くより

八義捐金

△四月一日を御用心▲

一日男 大殿堂を築

(=)

で、質ひ下けに行かなけらや 相手の眉似を、そら、例の彼 相手の眉似を、そら、例の彼 にんだよ、で目下、XX業に なんだよ、で目下、XX業に はのステットで割つちやつ なんだよ、で目下、XX業に はのステットで割つちやつ

できた女人の髪であるで善良なる できた。 ないまり早速回タクで××さへ出まり早速回タクで××さへ出まり早速回タクで××さへ出て向が何だか珍ぶん演ぶん。 変に向が何だか珍ぶん演ぶん。 変に のかして、到頭要値を得すしました。 か似につましれたやうな妙な かなして、到頭要値を得すしました。

はれがアメリカの語さなら を大分スケールが経大になつ て来ます。商賣人はごこまで 高い付込みニュー=ークでは で四月馬鹿のいたづら名案」 常覧した男が居ました。その 結果四月ー日の朝には電話フ では では、本名面で、此の傾

面は一日の朝からタアまで。

たる後なされた人理に動れて「壁とは前提を得たわものな

千人はフィッシュ夫人(電話から矢袋の招待駅を受取りました。所がベーア氏は名面値 たった、所がベーア氏は名面値 たった、のがベーア氏は名面値 たった。カーニーター五大〇番は高さらのことで、フェールー五大〇番は同水疾館のです。お際で用

何を用窓してみます。ソクラ 質成論者はチャンご期解の文

金ヵ国新京取引房山下著代△二十国日本橋道戸野五百里△一国突員家加護嘉明加賀田ヤー国突員家加護嘉明加賀田ヤー

子△八十錢斯泉** 片岡敏男一子△八十錢斯泉** 片岡敏男一

何村アイ、一〇一 口端枝合三十

> 代表アウ 百一十七

学版 △三国大十純 第門 景伝路 「L リーフ △五国 吉野町 鈴木 に表アウェテシャン、エフ・4 ロニナ 河風 一十銭在 新京路人 リーフ △五国 吉野町 鈴木

七白十四四九十錢

人オーセブムニ関数

火事だ」と

日本後十一時二

で 日ますがエープリンフーン なつて行くばかりなので 一 なって行くばかりなので 一 で これ

類別に於ける世界紅卍會は會 **仕滿紅卍會** 北平總行より分離 北平線行の 新に新京に總行を設く 私既に開釈に恢復目下着々開

京

かに特殊!! 食教育の 教育局設置を認め登通教育 十六圓九十錢を受入れた。こ

を設置すべしさの意見有力

三口で高八胆と露人別体の金三十二周 他に梅夕枝町料亭一つ家の石地に梅夕枝町料亭一つ家の石地に梅夕枝町料亭一つ家の石地に梅夕枝町料亭一つ家の石地に梅夕枝町料亭一つ家の石 風があるその内容は此段の分

お母さんより北海道のはこだ ものごくに思ひます此お金は きのごくに思ひます此お金は は5 幼年俱製品のお金さ姉さ 「東京國通」靖國神社臨時大 「東京國通」 靖國神社臨時大 をは四月二十五日の招魂祭を が日に二十六二十七『二十八 の四日間に亘つて軽大に単行 を副の軍除、事校、諸官術 は二十七日は休日さして國民 東つて護國の英鑒を慰める事 さなつたが、今年合祀される 五百六十八柱、御軍師保八九上競表されたが陸軍師係一千

凾館大火の義捐金

トク五氏各一調づて、それに子に 岩木マスに 射添締の加盟田ヤユ、吉川文子に 岩添締の原地 通传年常醫院長河野五百里氏山下等代氏の金五側。日本得配似大火戦損金三十日午後本 入院中の婦人患者西岡キヌ

吸島通9の長崎平次郎氏の金 頭出したものが届けられた外 原口流行さんが一国五十段を 二国、新京署から渡邊伊部が

の片間敷明君の金八十銭、三つの片間敷明君の金八十銭におほつかない筆跡でハれ表におほつかない筆跡でハれ表におほつかない筆跡でハれ表におほっかない筆跡でハれ表におほっかない筆跡でハ 助氏の子女。西村真一郎。和不可一丁目五二人四の伊藤静彦町二丁日五二人四の伊藤静彦町二丁日五二人四の伊藤静彦 **新合祀英靈**

お母さんの馬車ちんですみんなで一国十銭です少しですがなれたうな北海道のお友だ

けふで本社扱ひ締切

十四等いろくなものを集めたものである。三十一日の朝は吉野町の鈴木智嶽はから金田町八下来た同地在住民人オーセフの金三田六十銭(哈洋五国)朝鮮銀行支店の杉之原奉等氏金十四田六十銭(哈洋五国)朝鮮銀の四氏三国が、「馬場、久芳、霧」。東、川、田中原松水、察、泉、王。渡崎、馬山、川谷、大草、六川、田中原、水田谷、大草、六川、田中原、水田谷、大草、六川、田中原町村、田古里、田中、丁の十

満洲國極東オリムピック参加

頗る頑迷

滿洲國委員猛運動

五氏一圓づきで石川。川木、西、趙、王、大内、大作の七氏が五 銭づきを離出、祝町四年銀帯第一氏から金五圓、東四年銀帯の面の面と、北京道棒太貞の一大作の七十一圓二十段が10~6れ合計七白十四四八十

領人間には友邦の災禍に對す度熱河方面は停はるや常地方

免者に贈る事さなつた

十圓鮮銀支法杉之原孝養△三

開

實質本意

カー杯の

貸出

絕對御安心

肥後屋質店

個ケ枝町四丁目十二番地

富公恒戦

西村寅吉

同情の念が翕然さして

湧き

ひに二千圓

協和會熱河事務局 函館火災義

智殿員より]千圓! 供界紅 (景口福通) 函館大火に耐し (景口福通) 函館大火に耐し (景口福通) 画館大火に耐し

幽明大火に 催さなり義捐金外集に 野田卯太郎方へ

市内日本情通八十二番地洋服市内日本情通八十二番地洋服 の抽斗から現金百四十圓を切除を吸填し何きか侵人店の机 京署に屆出た

泉保蔵 王翰翠 濱崎延平中原亭 松水醇夫 葵克昌

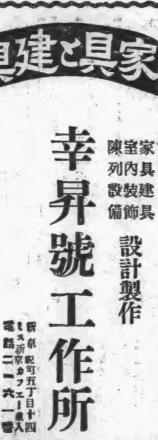
期 田中不可止 丁米萬 石土地 人用人四郎 田中金八 岡村 大草實

品

市場に、 市場は、 ・ である。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ で

進

ヒスデ







開店一週年 紀念のた 8

本日より向十日間粗品進呈致しま 自祝の意味を持ちまして

是非一度御來店を 養六三四二話電 遺俗一東

呈

す !!

億化シ、中原一等航空兵費、 行場に継落、伊東三等主計は

(甲子園園園)中等野球大會 第三日成績左の如し

空中衝突

訓練中の二機

の数まで世界の備削屋の銀谷、祭

い高のり香

新京陸町四ヶ九

てはくれまいか ……」

解释是春堂

電信三十九十分

同市場內支店

斯京松入組合加限店

てがら、この腕の内は振りさけ

とりが行はれましたが、その戦に「大吉との――」と、観察から

鹿谷

二丁目

行友李風粉作 がも手につかねであらう……」

をでかりの日風も、今日一日、一の製日もと強ひつめるうちに、早 一生のたのみちゃ 割は、 冒楽しありませんでしたが

知

眼

通六六

ですれば、今日は、大吉とは配

ま近うとつて際に使って、配のやり

はならぬ-

わらはも明日はお屋敷へ戻ら

滿州國電氣指定商會與東軍電氣指定商會

新京にも

內外線電氣互事並三動力据付 大昭公司電氣部 新京中央通 リナ三番地

沼田勇法律事務所 電話ニー四七番

辯護士

食料品と 電話三匹四正番

大工道界並,左倌道界式 中屋商行出張所 京大和 WO GR

物及的表代京東本日大

電四九〇六室がおいた BASEMENT OF THE SHINTO BUILDING

UMEGAECHO

要各階及各組タ

庖丁及物研

度お越しを願ひま 111空町三丁目

電話五大四三種

話三〇六

新鮮なる魚菜、芳醇なる菊正、鯛すきは新京の元祖!!!



のみのコバタ やない「お ョウは只の スモカ使つ た朝のオハ ハヨウじ







627

をの命字条債額

國策確立研究機關を設置か

齋藤首相の肚の内

世相自名標識して調査機構の は相自名標識して調査機構の

専任文相の物色は

りが決

財政財界の好調で

問題につ

政田はこらねつもりだ。就 けるここが必要だが、今日 はこれ以上積極的に低金利

ででは大張の郵便的 は大張の郵便的 である下

目然増收と低金利の關係で

四千萬圓を減ず



損金の一個外部やに米貨金債の利排差による

で何れも非常時財政の好報 高橋財政の裁功の一幅で開

脚界 自然暗地であるが、インプル長氣の効果の効果の

付 ふ實施

科一保設、土木棚、機械名政

遊師科一別車、機器

貨物、配軍太股

2.4 股(信號股は華天姫 一条科― 年務、徳信に信號

に於ける業務の医滑なる趣味的陸中特殊の事情ある地域 勝事職の特股

間は哈留度水運動の管 第一工事、増加条数

船口線

北信祭長

古田井一年

大使館一母書記官 九年七年の東京の東京計画の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京が、 #プグイニート研邦在動 大使館二等時間書 天氣と気温 祖一時間説

·以號丙

社式

入權 公告

安徽 義維段

ルンシントルゴッド語 甲第二七號 日第一八號 石川竹 二殿 町第二五七號 乙第一〇號 丙第七〇號 丙第七 號 丙第七二號 石井富次郎殿 町第二八五號 日第一八號 石井富次郎殿

建築物及び観道の破壊と しめ反傾抗日を積持しいる しめ反傾抗日を積持しいる の部下を江省内に分散 のの形でを江省内に分散

丙第二

祝町三自新京千木中前

新世帶道具數鉄屋商店 御電話次第直子三参上電話三八四三番取次

大使館参事官 佐久間 大使館参事官 佐久間

はする件を請酬し署を鏖政府で日本政府に民間會議決裂後 で日本政府に民間會議決裂後 大使はランシャン顕相の要求

成ノ手駄料人で

事中のさころ三月三十一日をしって工事を完了、及府満洲國の阿陽川一龍井村一朝鮮國境線はかねて施殿で満洲國の阿陽川一龍井村一朝鮮國境線はかねて施殿で満洲。 はい に 一巻を 全手

昨日工事完

貸付問題を進行せず 聯承認

は

米政府高官の

招待計畫と

省軍

COMは去るせ二日黒槍舎棚の完全に撃滅。完全に撃滅

《上編州》日韓国編》 部の命を受けて表図外務省を 部の命を受けて表図外務省を

報道壓迫事件 外國新聞通信員等の態度硬化

の特価目が支勢の混亂狀態目を申し入れ英朝繁局の取締目を申し入れ英朝繁局の取締 **曲な脅迫感覚傷を行び雪** 所が展々外置通信員に関 入買品戶

適任者を物色する模様である相は結局西園寺会訪問稿ませ

策に闘する

日本政府の回訓到着

日英會商善後

してるる

昭和九年三月三十日 日ヨリ之ヲ融攸、明和五年皆示第八號『昭和五年外務省令第九號 伽原官ノ聯教スル手歌科及出張費用ニ購スル告示』中第二十四號 一ノ窓際以スル手歌科及出張費用ニ購スルを示』中第二十四號 一ノ窓際リカニ「及と心相契約ノ親明」ヲ加フが、『昭和九年三月三十日

録ニシラ前条號ニ該書語種ノ銀明、条郷、記

(=)

常時は 浮き立つ關東軍將兵の家庭に ふから平時勤務 去ら 幸祈る新京市民 B かず

一上美元 の矛に截正 でも人心のゆるみを許されな とない とない から起 されてける でも人心のゆるみを許されな でも人心のゆるみを許されな 題に端を破し二年六ク月非常 起つた猫泉北軍閥の講顧複級 さきなり官舎の出来火第或はされる時つ間もなく借承探しまでして一家風樂の日を持ちあぐんである八八・七月の一 三日本代 この戦しい散歩すがたを西公の他の池の漫。 音野町の夜唐にみられやう よく家族を呼び寄せ得るこ 要さ離れ愛娘の姿をただ夢に 要さ離れ愛娘の姿をただ夢に

意兵隊牒報會議

の青鏡を三唱して午後三時散の再鏡を三唱して午後三時散の再鏡を三唱して午後三時散帯をは中等 開東源兵除機利の間は二日は 一日午前九時同除川今部で 明會出席者は田代町今百以下 明會出席者は田代町今百以下 明會出席者は田代町今百以下 明會出席者は田代町今百以下 明度要修順を開き。同正年間 自したが。除下参集者は夫々

龍井村民間に

特別市政實施要望の登起る

日

の直接管理下に入れられた

く 各期被長を油じて本針か

旨を決勝し此の旨邦人告留

御大典映畵

五日に常設館で公開

既を破つて 解氷さ きもに滅む 動新泉市の中心をなさんさん

曜中亭校(四十萬圓)▲爾鐵書補導部(百五十萬圓)▲爾東軍司令部職書補導部(百五十萬圓)▲爾

る欺隣

につき新京者、總領事館者の首都新らでこうした事件の首都新らでこうした事件の首都新らでこうした事件の首都新らでこうした事件のできばいるとのでこれが取りません。

百四十

、工事明に入り賭材料の運搬

ので開発會でも各方面の激見民會に提請し、賛成を求めた

め大々的に運動を開始する致せば右部官の目的質徴の

が撮影した御大典の映畵を二個機

に競見することが出来中事務 から身許照會に接しても察易 から身許照會に接しても察易

た前色に中継数への一歩を進めてるるが今年中に同地一帯を進せ、の一歩を進

百五十戶(百萬國)△東拓曾

一百十萬國 新京南方版站 ▲伊日潭貯水池築豊工事 通河東大僧及暗梁歌ヶ原

住宅大百戶(四

工事 四十萬圓同▲市場沿 京球設市街 ▲下水雞藥幣 京球設市街 ▲下水雞藥鄉 京球設市街 ▲下水雞藥鄉

類園★道

を考究中である

協議一期を控へ對

12日村 茂草の

宿舍大百二十七戸(二百五小冊校(三十萬圓)▲編東軍

務會其他領人有力者は寄々協力者間に最近帝制實施配念まして同市に特別市政を實施せよるの磐有力に接頭し同市商よるの磐有力に接頭し同市商

一名づつ時勤者は商業単校1111一名がの乗職で、安単、室町小郎に各 **桑學校二名、位はあるものさ** 西族塩三名、普通學校一名、 け何で使表されるはず。 退 第二日

建築美の粹を蒐む

鶴が逃げた

毎町コゴロニ十五番地流銀病

有志其の他各個人に到るを敵一會事業聯合者は之を一括

滿洲國社會事業聯合會活動 はいこさである商権附されたい さいこさである商権附されたい さいこさである商権附されたい 地方社會事架聯合會に於て央 を列集し乙を強刑調中央社會 なつて るる、補四関中央社會 なつて るる、補四関中央社會 を飛ばし救資金の募集に着手

お家醫院外科でご月中に手備 にお茶来、再来の患者細数は に一二百一名の増加である 下すい。御州を贈ります」さ「競児した力は至幸お知らせ 滿鐵病院患者 日本人 九七七 宝三四 日本人 九七七 宝三四 日本人 九七七 宝三四 前月5比較して増加は見てるが頼月は二十八日まででご ちが頼月は二十八日まででご

は破るものである

涿事講習所 一日から新學期

一九九四 三元女 北海流社会事業協會 建造し間舎の手により困能市民の教授に20つてもらみさのとさである

配牡一羽が行方不

ガ不明させつた

满洲國特

京城通」務州國特使は三

取計ふやう依頼して来た物館し降軍の制器を適宜

務所社會係又は家事課習所におりる詳版科、生花科の新導品が会議を開始すな怪詳細は地方事態を開始する。 せのこさ

「東京議通」唯年大月樂加獄中から韓向を聲明し我词の左親。三田村川郎、高橋貞樹。三田村川郎、高橋貞樹。 三田村川郎、高橋貞樹。 三田村川郎、高橋貞樹。 「三田村川郎、高橋貞樹。 「三田村川郎、高橋貞樹。 「世野等は森山慢事が過べた物のは拍子抜けの観があつた 佐野等は森山慢事が過べた物には不服はないが讃員に對してはいり過量であつたからあつきりき種の振りを示してはいり過量であったからないが讃員に對してはいり過量であったからないが讃員に対して関があったからないが讃した時であったからないが讃した時であったからないが讃した時である。

人同大街の大建築

今年着手のもの二、 〇八七

次いで橋山が立ち はかればならねさ思ふりを観見した時はこれを改 りを観見した時はこれを改 りを観見した時はこれを改 佐野 多中進つて供ます

重傷を負はせたのは逃 淺草で高小巡査を狙

使が寄贈 千圓

に長十八取 寄見日東

火災救済に

非の際評岡縣からで候補し昭和三年二月の田中内開選

東述に入る管である 東述に入る管である 東述に入る管である

三十一8年後四時二十分頃市 満員だつたので腺を演して鑑してさて仕事に取りかららう に新京野祭者に急報園者ではって記入ので押入つた三人の怪 自下犯人捜査中である きは店内が大勢のお客さんで 形しい客に膽を潰して逃走

佐野學等轉向組巨頭 控訴審開廷さる

役す窓思はない 私にさつて思想のない者を 私にさつて思想のない者を

(8

五分休憩。午後一時三十五分五分休憩。午後一時三十五分大正十五年四月入路しレーニン研究所に入り昭和三年十二月。二十五年世代滅に初した共産黨再建のため解明した共産黨再建のため解明した共産黨再建のため解明した共産黨再建のため解明した共産黨再建のため解明した共産黨再建のため解明した共産黨再建のため解明した共産黨再建のため解明した共産黨再建のため解明した。 宅で同人の承認を受け入る年八月淺草の徳田球一の自

で、大正十年運動のここで警察に検撃され、常盟国の窓を は、大正十年運動のここで警察に検撃され、常盟国の窓を が、大正十年運動のここで警察に検撃され、常盟国の窓を

出す、大いで入蔵経過等をすを読み上げるご被告選も築び機合野に商はれ懲役二ヶ月の

日本放送協會

極東オリムピックの實况放送

問覚せいめってきさなつた 常枠館でこれを会開し一般に

をはかるため大典曲から渡嶺 藝術を通じて観光励さの親善

(八十萬圓)▲三中井百貸店 び工事個所代次の通りである 「二百萬圓)▲三三菱貨事務別 お主要工事でこれが拝費およ 「二百萬圓)▲三三菱貨事務別 お主要工事でこれが拝費およ のま年中におび お上子大百四十五萬圓である

察を終へ贈る

城内の居住者は

うもこの砂埃の駅な鎌日か し合の吹きするびますがご

個尺を凍てつい

ますたマ例の撃古風がひさ

な気がしません。来るに迎ければほんさうの春のやう 何さ云つても五月にならな

海撒が始められた。工事明がは早くも木材。土砂、鹿材のは早くも木材。土砂、鹿材の

にくいのは

日本人の苦力頭

苦力賃を安拂はず逃走

當局で對策を考究

静氷期を控へ發展の途上にも

トを混合する場合は曖板火は一貫業者に通知した留め置くこさなく且つセノン「板を使用するこさを

新京署から各請負業者に

致に國民的感謝を捧ける のため食い機性さなつ に戦死傷者要びにその遺 を取死傷者要びにその遺

市内の道路は材料の超揚さ化

3 中又強略に土砂を置く場合 ので新泉署保安保ではこれが ので新泉署保安保ではこれが

金未持の総線圏がひつもから 地人の普力烈・気は下積人が から新京神僧帯館者 である、これ等にいづれる内のから新京神僧帯館者 である、これ等にいづれる内であるが出す件、縦幕響州件の工事が終末をつげるこ や智祉ではこれが解決に関を

しこ暖かくなり

えるやりになって来ます。

が、これらの内には単住国を担保を対象で、これらの内には単位してある。 最近内地の野体の地名地から

んでるたのに驚いた次回の建設工作が建想外

世界名詞では

出られよ

十日新京を去つたが離京に際

早く届け

教授リリン、キャップ氏は三 骨像をスクッテしながら政務 を規模してのた編造の基大単

工事、建築、運搬等に

道路使用注

初京教育會は三十一日午後一会別會

教育會で

で講館社員に、同日更に新京で講館社員に、同日東京新京三日は宮廷府および帰東軍司三日は宮廷府および帰東軍司の関務院會議会員の関係院會議会の関係院會議会の関係院會議会の関係院會議会の関係院會議会の関係院會議会

者は速やかに届けられたいさ

獨逸畵家

國州院總令(百二十萬國)

十二日から八日間マニラに開一ついて目下協議中である・しょうでも対し、喜ら打し始日の一話會社の小盛受信房の巨大な一局から日朔明朝に中機放送すの結束統制を強調し他日の一は今回新設された過際無線電ーファ大きの實況をマニラ放送・事を避ける含め、喜ら邦人期に収束に関す。日本放送協會で一催される第十回極東オリムビ・定する制料運動に朝釈を采す

滿洲國代表

比島代表の

「上窓肝」日發國語」編州図の極東オリムピック大會参加 連成の責任を負つて除癌せる 調準関本際は限公員を整行委 であるが、三十日夜は常地新 であるが、三十日夜は常地 であるが、三十日夜に であるが、三十日夜は である。 日本一の恩給取

日息の氏が 「東京間部」 前半京市財務局 最白鳥氏は本日午館二時十分 自宅に於て近去した、享年五 十四歳因に同氏は動義三十四 年で思給八千二百回される日

新聞記者と會見 の結束を持つて具体が順を決 詮衡遅れ 上海圓卓會議八

日以後に延期

市內住 白書拳銃强盜 吉町

の通改正し四月一日より之を實施致します今般弊社大連、奉天、新京並安東の電燈、令般弊社大連、奉天、新京並安東の電燈、

帯天、新京竝安東の電燈、電力料金を左記

廣告

一、從量燈料金 3

五十燈超過の分に對して二十燈起過れ十燈左の分に對して二十燈をの分に對して 金金金サービー個月に付

世金金-七九 组 民 民 日 一 付

一般常平均一箇月間の使用電力量 十五キロップト時窓の分に對して 十五キロップト時窓の分に對して 大キロップト時窓通 一、定額燈料金 百四二世 サファット サファト 金十六 健 州十六 健

(ロ) 門燈。軒燈及紙燈料金 三十ッファ 金五十三銭 三十ッファ 金五十三銭 四三十リファ 金五十三銭 四三十リファ 金元十三銭 四三十リファ 金元十三銭 三電燈工事手數料 (イ) 夜間定 十 ファット エ 球 容 量 夜間定額燈料金 電燈一箇に付 金三 周三十銭 (屋内配線弊刑持) 白四十ワフト ファント 金十錢 金六十二錢金六十二錢

四定額燈電球交換料 自然影響の場合は赤の料金を以て新田し街燈に對しては無料とす

(イ) 準備料金 (低壓)

(イ) 準備料金 (低壓)

(イ) 準備料金 (低壓)

一貫をロップト時間過

一貫キロップト時間過

一貫キロップト時間過の分に對して
一貫キロップト時間過の分に對して
一貫キロップト時間過の分に對して
一貫キロップト時間過の分に對して
一貫キロップト時間過の分に對して
一貫キロップト時間過の分に對して
一貫キロップト時間過の分に對して
一貫キロップト時間過の分に對して 一キロワット時に付 一個月に付金一関五十銭 金一錢八厘

出したる料金合計額を五分引するときは前二號により 金一錢大風

昭和九昭四月一日の開細は弊社本支店又は各營業所に於て御説明申上げます (ロ) 最低料金を定めたるものを低限を以て使用するできば、気料金を製的容量一質位置一箇月の最低料金を全一面でし一箇月間の電気料金が之に額たさらでき又は全然使用せさらでき之を申受く、 五分増す

南滿洲電氣株式會社

では無我なり無我は大我なりでは無我なり無我は一心に有り!! 本に有り!! 本の で原因は一心に有り!! 本心 で原因は!! 本に有り!! 本心 は無我なり無我は大我なり!!

あけれは余りに私途の選ぶさ なおだらう……

等の逆事實を如何さるする事 に服開す二矛盾束纏類閥美備 に服開す二矛盾束纏類閥美備 に服開す二矛盾束纏類閥美備

今日各様が天性のました絶對 等中に喜々さ遊び飲れてゐる 等中に喜々さ遊び飲れてゐる

一様の食に削してゐる価限人に「貴殿は速かに無我になれた。 大我に眼覺めて失悦界に安住せよ……」等さ…私は、私は 如何にしてもサトモない。私は は說く間に鏝紋人の當に共に 一片のパンでも野ね示めてや らねばならね。何故なれば「 をねばならね。何故なれば「 有る」からです

質問者の申される酒の誠に現

は紅さ法和然の活法界が英額 まの差別なく山は高さませに 水は後々なるませに柳は縁花

ものでしやう

思ひます

見ひます

見います

しいます

見います

まいます

斐布教師

適れる旨の色々な苦灯を修め 古来宗教は之郷の事質相から は出来ません

つかなら古聖大徳さ同じく法 「生活の不安」なく「邪権権 「生活の不安」なく「邪権権

橋な事です若し私達に何一つ糸望なり単根なりがなかったなら見らく私達は生きて行けるのでも再選は生きて行けるのです。 「希望の消滅」其の時が同時に人生の終幕です…… がほことを発達は生きて行けるのでもに人生の終幕です…… が

希

望

0)

活

れる 異る現實の協議を見せつける

の戦闘党ふ者悲しむ者生活線上飢えに泣き、愛利

家なく、

生者有り

電部議洲國に動務せるもの、 青町生の如きは家菜を助ける もの、食針銀行に耐務せる者

均等

育の革命を叫んだのは一体何を意味するか、亨け離き現世 を意味するか、亨け離き現世 に生れて、衛且つ自己修養の あるを思ふ時、彼の口をつい て設せられたのではあります まいか、ストレットカルト、数 りしても亦叫ばれなければな もないのではありますまかか。

御尊影を

勝洲國皇帝の

商家の店員たるもののみでご

列市に股盛鏡を設備

海の外から

りつける 関兄弟は大日本國民教育會々 第兄弟は大日本國民教育會々 家部領屯部落に終て鮮人朴學

の基礎さ申さなければなりま

青訓 の眞價 新京青年訓練所

列車中に膜壁鏡を備へ付け乗

あき脅し新却中を牧局では第一般であれば抗日反帰の徒であ

6ない將來吸に於ては、全國明家總動員に依6なければな 國民皆兵の今日、 れてるた古は 大の武器で

でございます。入雪県の教育に電 での良否は入雪後の教育に電 大なる差異を中じて参ります 倒して徒らに戦沖杆騒しては大客かつて一利もないのであります。銃後の要求を果すのみならず。ほ後は銃を執つて恐たねばならないのであります。然かもかせる場合銃を執って 其の準備がなくてはならないは護國の任に當るべく平時には護國の任に當るべく平時に つて求かる心なく、巳一個の一君真民、皇室あるを知って、排ける心あしない。 れないのです。兄んや心氣婦女子を雖も袖手傍觀は許

向上は人的要素たる根本的な関なりませんが、國民資質の関係を考慮しなけれ

庭的のものでござい

存じます、飼ひ犬には税金を 考へなければならないこささ 考へなければならないこささ 母金のかかる世の中。 大切な常世では一匹の犬を飼ふにし を修養せしむるの場合を必年を關使して、彼等に財を攪むの呼ばないさ産 には自己完成 五大郷國蛮機職成る 本井縣階級天文解測所に命じ郷 大郷階級天文解測所に命じ郷 大郷階級天文解測所に命じ郷 大郷階級天文解測所に命じ郷 ては全米専問家の注親の的こと、サンデイアゴー、此の企 から関形面岸に至る幹線に置きよ四月から英京ロンドン市

四季衛支品報 日語學院 「四季衛支品報」県樹縣正義 「四季衛支品報」県樹縣正義 「四季衛支品報」県樹縣正義 「四季衛支品報」県樹縣正義 「四季衛支品報」県樹縣正義 「四季衛支品報」県樹縣正義 「四季衛支品報」県樹縣正義 「四季衛支品報」県樹縣正義 「四季衛支品報」県樹縣正義 「田本語學院」県 「田本語學院」 「田本語》 「田本語

の義捐金

無名の兵士が

一般演徒を終に備へ を演奏を終に備へ を演奏の命中を知る では頭丸の命中を知る では頭丸の命中を知る では頭や間でぬんに使用せ もれ値ざ三十六オンス! 射撃 に使は知時は小型のケースに 仕無ひ込み頼々好きな所に行 がれるから軒事家の好師を博

3

一ク年半乃平二ケ年の間にはの兵さは、教育の効果に於て

恐怖症にあり、露週の敗亡はな武二派の争き流者の戦争は女武二派の争き流者の戦争

は中國民事けて一つ心になり國論の二分にあり、男女を問

兵を暫日背敷千首を費して

随分の等差を生するこさは

・ 商優驅日本人に大敗し 驅き頑強き多敗さを以て 路戦争の成果に見ても

クラカトアの温暖で

赤十字病院

聖母」は作者の都四面川載『日本の

休載致します、御

唐

築

移

新

科目 依柳病科科

肛門病科 小兒 科

開業擴張

益之 豊 質店 流質品安賣

管で大畑砂をして附近に大損害を実へたクラカトア島は最害を実へたクラカトア島は最害を実のない程。猛威を逞しいているがある。 出來かけた }四 平 街

さは人類を胃瀆するも該だしへの税金を拂はないご云ふこ

三件にます。 土田杏村が

生きては國家の忠良さなり、 死しては護蜀の鬼さなる。こ 死しては護蜀の鬼さなる。こ の精神を平素堅持せしめ、事 あるに臨んで空々其の精髓を 日本帝國は永へに萬々哉であ るさ確信いたします

「大津園通」大連市山縣側も 自三十四番地長県龍匠藤川女 市底の協め、大連赤十字病院 に於て産婦人科院長賀川女道 に於て産婦人科院長賀川女道 に於て産婦人科院長賀川女道 に於て産婦人科院長賀川女道 に於て産婦人科院長賀川女道 に放した性の同氏は手物費 もの評費五十餘画を女子さん に返し、口止め料さし施寮患 た事が曝露、北の龍女野協道 た事が曝露、北の龍女野協道 た事が曝露、北の龍女野協道 た事が曝露、北の龍女野協道 婦人科醫の犯罪

は事件を 徹底的に 乱明すべりさし大連檢験局池内検母官

無理に賣

二日(月曜日) 駅京 二日(月曜日) 駅京 年前十一時四〇分 ニュース 年積(時五分 護衛市元 年積(満路) 華天より 日 一時〇分 演奏(満路)

国三時三〇分 ローカルニュ 同三時三〇分 原南記 同三時三〇分 標準市況 (日瀬郡)拳天より 同 五時〇分 子供の時間 (貞京より) 童話劇 瘤以動語 作奏北村三重奏更 作奏北村三重奏更

御即位記念さして

なりません」 会望は人生の一里塚 会望は人生の一里塚 を対しました。私は最後に一事進 しました。私は最後に一事進 しました。私は最後に一事進 同五時二〇カ 大師〇分

建國うざん、そば

本日より初めました

向

一週間限リ

迅速割烹

海然三四四大衛

虎

明に早りてあら…… 参書を忘れて人生のコース を走りつてあら…… 又希望S擴大、悪想の進展 特の苦悩に耐へ忍ぶそして (無話) 書師 小 林 春 (無話) 書師 小 林 春 (無話) 書師 小 林 春 (本話) 詞 植松 金枝 (日話) 同 植松 金枝 (日話) 同 植松 金枝 (東京より) 日 八四五分 ユュース (東京より) スルカイ プロ カース

「私選は希望い真めに生き

明日の自分を反省し、そして今日の行程を追憶し、そして今日の行程を追憶し、そして明日の理想を想起しな々希望の一連領に徹峡み一里塚の歌上へき進まねばなりません皆ナン「希望に集まればなりません皆ナン「希望に振りみ」という。 大性外流線 九時〇分 横橋(紫橋) R京





蓄・音器 オートバイ 店的 御用命は 目轉車にオ 池畑自轉車店 販 賣 東一條領電院三四二三治 店

特別奉仕。別誂

電話四大〇六番

随意

入院

新京永樂町三丁目 西部語のおりの

揃 背 廣 Δ.....∓ 87.00 B.....¥ 45,00 紅黒セルサージ 地

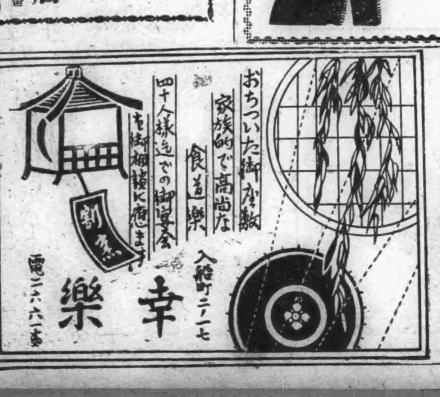
大上洋行註文部

ライクリーニングの 責任ある専門店へ御用は安心の出來る 〇急告 御下命下さいい

專門店

熊本屋

最話三四三五番



內科 景泰姓二智五姓 科 院 茶



板 牛 THE PERSON NAMED IN THE PERSON NAMED IN COLUMN 0) 看

閑靜で……

家族的に御利用の程を 元なべよし跡 おちついた御座

鍋料理 電話二七八三省

產

婦

皮膚科

三井物産の

巨船彌彦丸

美

電新 話京 四朝 七日 二通 三四 番七

の検閲を経た **送料金貳錢** 會育教年青 人可濃信東·谷四·涼東 九三九三六京東普級

份局

